




第2回高津川の魅力あふれる川づくり懇談会議事要旨と本文への反映

分類	意見	整備計画本文への反映(掲載ページ)
河川整備に関する方針	<p>・河川整備計画が走り出した以降に、より良いものにしていくために重要なのが「PDCA」である。事業も計画も、PDCA 的に見直していくことが重要である。</p>	<p>5.2 河川の維持の目的、種類及び施工の場所 (P. 49)</p> <p>高津川の維持管理の実施に当たっては、高津川の河川特性を十分踏まえ、維持管理の目標や実施内容を設定した河川維持管理計画を作成するとともに、高津川の状態変化の監視・評価、評価結果に基づく改善を一連のサイクルとした「サイクル型維持管理体系」を構築し、効率的・効果的に実施します。</p> <p>また、河川は常に変化する自然公物であるため、洪水の前後だけでなく、日常から継続的に調査・点検を行い、その結果を「河川カルテ」として記録・保存し、河川管理の基礎データとして活用します。</p> <p>さらに、河川維持管理計画に基づく年間の維持管理の具体的な実施内容を定める河川維持管理実施計画を作成し、維持管理を実施します。なお、毎年、維持管理の実施結果に応じて、改善すべき点があれば次年度に反映させます。</p>
	<p>・「治水」に関する理念は明確に書かれているが、全体としての理念がどこに書かれているのか今ひとつはっきりしない。生態系や生物の面から見ると、少しまだ問題があるのではないか。</p>	<p>3.1 河川整備の基本理念 (P. 26)</p> <p>高津川の河川整備は、「魅力あふれる川づくり」を基本理念とし、洪水被害等の水害から沿川住民の生活を守る「安全で安心して暮らせる川づくり」、豊かな自然環境とその風土に培われた河川文化の継承をめざす「豊かな自然を未来に伝える川づくり」、河川利用による地域交流を通じた「地域の活性化を創造する川づくり」の3つを整備計画の柱として、関係機関や地域住民との情報の共有、連携の強化を図り、河川整備を進めていきます。</p> <div data-bbox="1496 831 2074 938" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>安全で安心して暮らせる川づくり</p> <p>過去の水害を踏まえ、基本方針で定めた目標に向け、整備計画期間で実現可能な段階的な整備を行い、人々が安全で安心して暮らせるための川づくりを目指します。</p> </div> <div data-bbox="1496 970 2074 1077" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>豊かな自然を未来に伝える川づくり</p> <p>アユを代表とする豊かな生物の生息・生育環境や清流高津川の美しい河川景観を保全し、未来に伝えることのできる川づくりを目指します。</p> </div> <div data-bbox="1496 1109 2074 1216" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>地域の活性化を創造する川づくり</p> <p>水遊びのできる川、水辺に近づきやすい川、馴染みのある川としての高津川の水辺の魅力を最大限に活かし、川でしか体験できないような学習、交流の拠点となるような川づくりを目指します。</p> </div>


赤字：整備計画本文へ反映された箇所

第2回高津川の魅力あふれる川づくり懇談会議事要旨と本文への反映

分類	意見	整備計画本文への反映(掲載ページ)
高津川の現状と課題	<p>・「天然アユ」の表現について、普通は川で獲れたアユを「天然」と言い、高津川で獲れたアユは全て「天然アユ」である。ここで言っている「天然アユ」とは、「天然遡上のアユ」という意味である。</p>	<p>①アユの産卵場（瀬）の保全 (P. 19)</p> <p>高津川では古くから天然遡上^{そじょう}のアユが有名であり、全国からアユ釣りを目的に来訪する人が多数存在します。河川工事の実施に際しては、古くから代表的なアユの産卵場として知られているエンコウの瀬（地蔵の瀬）、ナガタの瀬、虫追の瀬等について、アユの良好な生息環境の保全に努めていく必要があります。</p>
高津川の現状と課題	<p>・アユの産卵場は、砂が多いのはよくない。浮き石でないといけない。アユの産卵場を保全するという言葉はたくさん出てくるが、具体的な話がでないと説得力がなく、（これを含めて）生物関係のところは一般的なことを言っているだけの感じがする。</p>	<p>①アユの産卵場（瀬）の保全 (P. 19)</p> <p>高津川では古くから天然遡上^{そじょう}のアユが有名であり、全国からアユ釣りを目的に来訪する人が多数存在します。河川工事の実施に際しては、古くから代表的なアユの産卵場として知られているエンコウの瀬（地蔵の瀬）、ナガタの瀬、虫追の瀬等について、アユの良好な生息環境の保全に努めていく必要があります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center;">地蔵の瀬(エンコウの瀬) ナガタの瀬 虫追の瀬</p>
高津川の現状と課題	<p>・水生生物から見た新たな水質指標についても、今後検討することも必要となるのではないか。</p>	<p style="text-align: center;">—</p>
高津川の現状と課題	<p>・水質は良好である、BODはこれだから良好だ、と決め付けられている。</p>	<p>(P. 21~P. 22)</p> <p>高津川の水質は、水質汚濁の代表指標であるBODについて見ると、近年では環境基準を満足し、概ね良好な水質を維持しています。</p> <p>BOD値による河川平均水質は、平成18年の調査結果において、全国1位にランキングされました。清流高津川の名に相応しく、各所で水遊びに興じる子供たちの姿が見られます。</p>

赤字：整備計画本文へ反映された箇所

第 2 回高津川の魅力あふれる川づくり懇談会議事要旨と本文への反映

分類	意見	整備計画本文への反映(掲載ページ)
高津川の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・河川景観について、河原に何も無い、草も緑もない方がいいのだ、という感じを受けるが、本当のところはどのような河川景観がいいのか、高津川ではこのような景観がいいのだ、というようなものがきちんとしていた方がいいのではないか。 	<p>(4)河川景観の現状と課題 (P. 24)</p> <p style="color: red;">交互に連続した瀬・淵、礫河原、水際の入り組みや河畔林等、川の営力によって多様な河川景観が形成されています。その一方では、砂州や中州の樹木、草本の繁茂で、高津川らしい景観が失われつつある箇所も見られます。清流高津川の景観を保全することで、ふるさとを流れる川として愛着のある高津川の姿を未来へ伝えることが望まれます。</p> <div style="text-align: center;">  <p>交互に連続した瀬・淵</p> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ・高津川ではどのような景観が一番いいのか、具体的に何か整備計画に入れることができればおもしろい。 	

赤字：整備計画本文へ反映された箇所

第2回高津川の魅力あふれる川づくり懇談会議事要旨と本文への反映

分類	意見	整備計画本文への反映(掲載ページ)
河川整備の目標	<ul style="list-style-type: none"> 高津川との関わりを深めるために、堤防の上に遊歩道を造ったり、数台の駐車場ができないか。 遊歩道の途中に、歴史ある高津川の「益田八景」の看板がさりげなくあるとすると、目の前の風景が素晴らしいもので、守っていかなければというような気持ちになるのではないか。このようにしてもらって、みんなの高津川であるという意識を持てるようにして欲しい。 	<p>4.3 河川環境の整備と保全に関する目標 (P. 31)</p> <p>4.3.1 目標設定の背景</p> <p>高津川と人々との係わりを配慮しつつ、流域の歴史・文化・風土に深く根ざしている高津川の現状を踏まえ、「豊かな自然を未来に伝える川づくり」、「地域の活性化を創造する川づくり」を実現するために、多様な動植物が生息・生育・繁殖する高津川の豊かな自然環境、清流の保全を図ります。また、豊かな自然と緑が織りなす良好な河川景観を次代に引き継ぐように努めます。</p> <p>このため、河川環境の整備と保全が適切に行われるよう、空間管理等の目標を定め、地域住民や関係機関と連携しながら川づくりを推進していく必要があります。</p> <p>(3)人と河川のふれあいの場の創出</p> <p>「歴史・伝統・文化を育んだ川」、「アユのすむ川」、「豊かな水と緑の川」として多くの人々から親しまれ、愛されている現在の特性を踏まえ、今後も住民参加と地域連携を積極的に促し、地域の活性化に寄与できる川づくりを目指します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 交互に連続した瀬淵という表現があるが、もし現在、瀬淵が連続していないのであれば、それがわかるような資料が必要。 	<p>4.3.2 整備の目標 (P. 31)</p> <p>(1)動植物の生息・生育・繁殖環境の保全</p> <p>動植物の生息・生育・繁殖環境の保全については、良好な環境にあるアユ産卵場を保全するとともに、交互に連続する瀬・淵、礫河原、水際の入り組みや河畔林等、変化に富んだ特徴的な河川環境について、川の営力を利用しながら保全することを目指します。</p>

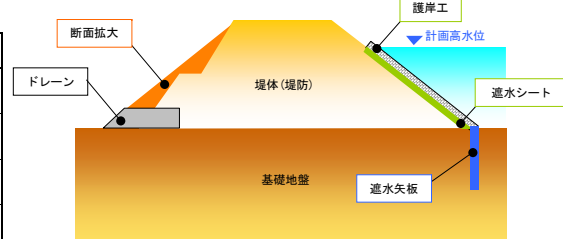
赤字：整備計画本文へ反映された箇所

第2回高津川の魅力あふれる川づくり懇談会議事要旨と本文への反映

分類	意見	整備計画本文への反映(掲載ページ)
河川整備の実施	<ul style="list-style-type: none"> まず丈夫な堤防を造って、目標流量である4,900m³/sをストレートに流すという基本的な考え方で進めて欲しい。 	<p>5.1 河川工事の目的、種類及び施工の場所 (P. 33)</p> <p>5.1.1 河川工事の目的</p> <p>洪水防御の基本となる目標流量を安全に流すために、堤防高及び川幅不足箇所の堤防整備、河床掘削、樹木伐開等の治水事業を実施します。</p> <p>なお、自然環境の保全、河川空間の利用促進を水系全体で図るとともに、「国土交通省所管公共事業における景観検討の基本方針(案)」に基づいて河川景観に配慮します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 治水主体の工事であることはわかっているが、生態系に対しても正しい理解をした上で工事をして欲しいと願う。工事の目的に合わせた調査をして欲しいということであり、できれば工事前、工事中、工事後というような生物調査を行って欲しい。 	<p>(2) 河床掘削及び樹木伐開 (P. 39)</p> <p>また、実施にあたっては、河川の自然の営みと治水対策との調和を図りつつ、平水位以上の掘削を基本として、アユの産卵場や瀬、淵及び礫河原の保全に努めるとともに、整備実施後は必要に応じてモニタリング調査を行い、多様な動植物が生息・生育・繁殖する自然環境の保全に努めます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 建設省(当時)が「多自然型川づくり実施要領」を出しているが、これに書いてある川づくりの理念は素晴らしいと思うので、是非参考にして頂きたい。 	<p>—</p>

赤字：整備計画本文へ反映された箇所

第 2 回高津川の魅力あふれる川づくり懇談会議事要旨と本文への反映

分類	意見	整備計画本文への反映(掲載ページ)																
河川整備の実施	<ul style="list-style-type: none"> 川の中の植物がないのもどうかと思うが、今は繁茂し過ぎており、洪水のときには水が盛り上がるように流れている。水質の浄化には主に根がするものであるから、上の部分をちょっと切るとかする対策が必要。 	<p>(2) 河床掘削及び樹木伐開 (P. 39)</p> <p>堤防整備を実施しても、目標流量に対して河道断面積が不足している区間においては、断面積の拡大のために河床掘削、樹木伐開を行います。</p> <p style="text-align: center;">表 5.1.2 河積確保のための河床掘削(樹木伐開含む)を実施する区間</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>地先名</th> <th>区間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td>中の島・高津・須子・飯田地先</td> <td>高津川 0.2k~4.0k</td> <td>河床掘削にともなう樹木伐開を含む</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td>虫追・安富地先</td> <td>高津川 4.9k~9.5k</td> <td>河床掘削にともなう樹木伐開を含む</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">③</td> <td>横田地先</td> <td>匹見川 0.4k~0.7k</td> <td>河床掘削にともなう樹木伐開を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>注)実施に際しては、今後の河床変動等により、新たな工事が必要となる場合や内容の変更が発生する場合があります。</small></p>	No	地先名	区間	備考	①	中の島・高津・須子・飯田地先	高津川 0.2k~4.0k	河床掘削にともなう樹木伐開を含む	②	虫追・安富地先	高津川 4.9k~9.5k	河床掘削にともなう樹木伐開を含む	③	横田地先	匹見川 0.4k~0.7k	河床掘削にともなう樹木伐開を含む
	No	地先名	区間	備考														
	①	中の島・高津・須子・飯田地先	高津川 0.2k~4.0k	河床掘削にともなう樹木伐開を含む														
②	虫追・安富地先	高津川 4.9k~9.5k	河床掘削にともなう樹木伐開を含む															
③	横田地先	匹見川 0.4k~0.7k	河床掘削にともなう樹木伐開を含む															
<ul style="list-style-type: none"> 樹木は、洪水のときに流れを邪魔するということがあるかもしれないが、人間が川を造っているのだから仕方がない面がある。樹木の管理については、国に任せておくのではなく、住民の人たちがどんどん切っていくてもいいのではないかと思う。皆さんが考えるきれいな高津川を目指して欲しい。 	<p>(3) 堤防の質的強化 (P. 44, P. 46)</p> <p>浸透に対して危険な次の区間については、浸透対策のための整備を実施します。 なお、浸透に耐えうる機能についての安全性照査は、平成 21 年度末まで実施する予定です。この検討結果から、対策を必要とする区間については、適宜、対策を行います。</p> <p style="text-align: center;">表 5.1.3 堤防の整備(浸透対策)を実施する区間</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>地先名</th> <th>区間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">①</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">高津</td> <td>高津川左岸 2.5k~2.7k</td> </tr> <tr> <td>高津川派川左岸 0.0k~0.4k</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">虫追</td> <td>高津川左岸 4.9k~6.0k</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">安富</td> <td>高津川右岸 8.2k~9.1k</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">飯田</td> <td>高津川派川右岸 0.1k~0.4k</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>*平成 18 年度末段階</small></p>	No	地先名	区間	①	高津	高津川左岸 2.5k~2.7k	高津川派川左岸 0.0k~0.4k	②	虫追	高津川左岸 4.9k~6.0k	③	安富	高津川右岸 8.2k~9.1k	④	飯田	高津川派川右岸 0.1k~0.4k	
No	地先名	区間																
①	高津	高津川左岸 2.5k~2.7k																
		高津川派川左岸 0.0k~0.4k																
②	虫追	高津川左岸 4.9k~6.0k																
③	安富	高津川右岸 8.2k~9.1k																
④	飯田	高津川派川右岸 0.1k~0.4k																
<ul style="list-style-type: none"> 高津川の堤防は、川の砂利を山積みにして赤土を埋めて草を生やしたような堤防が多く危険だと思うので、こうした点を考えて早急に計画を進めて欲しい。 	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>図 5.1.6 堤防強化対策工のイメージ図</p> <p><small>注)実施に際しては、区間ごとの状況を考慮し、最適な対策工を採用します。</small></p> </div> </div>																	

赤字：整備計画本文へ反映された箇所

第2回高津川の魅力あふれる川づくり懇談会議事要旨と本文への反映

分類	意見	整備計画本文への反映(掲載ページ)
河川整備の実施	<ul style="list-style-type: none"> 水質日本一とは、どの程度のものなのか、専門的なところを伺いたい。 水質日本一ということであるが、水質は採水方法とか場所とか時間とかで違ってくるものであるから、どこから出てきたものであるかを教えて欲しい。 	<p>(3) 水質の保全、水質事故への対応 (P. 59)</p> <p>水質の保全にあたっては、定期的に水質観測を行い、状況を把握するとともに関係機関等と連携を図り、多様な視点で現在の良好な水質の確保に努めます。</p> <p>なお、水質観測は、標準的には河川水の適正な管理を行うために、主要地点において年12回(月当たり1回)実施します。</p> <div data-bbox="1765 331 2116 853"> </div> <p>(P. 22) 図 5.2.5 公共用水域の監視のための水質観測地点</p> <div data-bbox="1108 909 2038 1141"> <p>高津川高津大橋地点のBOD75%値^{注)}の経年変化 (平成元年から平成18年)</p> <p>高津川金地橋地点のBOD75%値^{注)}の経年変化 (平成元年から平成18年)</p> <p>高津川旭橋(日原)地点のBOD75%値^{注)}の経年変化 (平成元年から平成18年)</p> </div> <p>注)BOD: 生物化学的酸素要求量。水の汚れ具合を数値で表したもので、汚濁が進むほど数値が高くなります。また、BOD75%値とは、年間を通して4分の3の日数はその値を超えないBOD値を表すもので、BODの環境基準に対する適合性の判断を行う際に用いられます。 なお、本グラフの「75%値」は、当該年の「1月～12月」の測定結果から算定したものです。</p> <p>図 2.2.4 高津川：高津大橋・金地橋・旭橋地点における水質の経年変化 (BOD75%値)</p>

赤字：整備計画本文へ反映された箇所

第2回高津川の魅力あふれる川づくり懇談会議事要旨と本文への反映

分類	意見	整備計画本文への反映(掲載ページ)
その他 必要事項	<ul style="list-style-type: none"> ・水質日本一に関しては、来年3月20日に、市民の実行委員会で「高津川水質日本一を祝う会」を開催する動きがある。 ・今回の整備計画では、治水がメインになっているが、高津川の良い環境ということは、観光につながるもので、もう一步踏み出して環境を演出して全国から来てもらえるようなことを、整備計画の中に取り上げてもらいたい。 ・地域連携について、水辺 EN 組プログラムなどのことが書かれているが、もう一步踏み込んで取り組んでいくということが整備計画の中に書けないか。 ・高津川活性化サクセス会議は2～3年前から止まっているが、住民団体がやっている「高津川大学」と同調して地域連携を進めていくということについても本腰を入れてやって欲しい。 	<p>6.1 連携と協働 (P. 61)</p> <p>高津川が安全でより多くの人々に親しまれるよう、地域と連携、協働し高津川の魅力あふれる川づくりを行います。</p> <p>このため、河川管理者、関係機関、NPO 団体、地域住民等が、それぞれの役割を十分理解しつつ、互いに連携しあい川づくりを進めていくことが必要です。</p> <p>高津川では、地域と連携した川づくりとして、今後も地域住民への広報活動に努めるほか、住民の要望や意見を踏まえながら整備に取り組み、必要に応じて支援していくとともに、地域の要望を踏まえ積極的に対応を図ります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・川づくりに関しては、住民にわかりやすい説明を行って欲しい。 	<p>6.2 情報の共有化 (P. 61)</p> <p>連携と協働を実現するためには、治水・利水・環境に関わる情報を共有化することが重要です。</p> <p>そのため、ホームページや事務所広報誌等を通じて、高津川の河川整備状況や自然環境の現状等に関する情報を発信し、情報を共有するとともに、意見交換の場づくりを図るなど関係機関や地域住民等との双方向コミュニケーションを推進します。</p>

赤字：整備計画本文へ反映された箇所

第2回高津川の魅力あふれる川づくり懇談会議事要旨と本文への反映

分類	意見	整備計画本文への反映(掲載ページ)
その他 必要事項	<p>・水質については、日本一であるということだが、よく知られていない。このような情報も、高津川に誇りが持てるような意識づくりには必要で、そのようにしないと整備計画ができてても関心を持たれないことになる。</p>	<p>6.3 意識の向上 (P. 61)</p> <p>河川の持つ治水・利水・環境それぞれの機能は、河川管理者、関係機関及び地域住民がともに行動することで、十分な機能が発揮されるものです。</p> <p>環境に関しては、自然体験活動等を通して、身近な自然である高津川に接する機会の提供、将来を担う子供たちへの環境教育の支援等、広く地域住民に高津川に対する関心を高めるための活動を行います。</p>
その他	<p>・昭和58年の洪水では益田市街地が大変であったことから、行政として整備計画では高津川だけのことしか述べられていないというように聞こえるので、気にかかる。</p>	<p>4.1 洪水等による災害の発生防止または軽減に関する目標 (P. 28)</p> <p>4.1.1 目標設定の背景</p> <p>このため、益田市街地において氾濫区域の重複する益田川の整備状況も考慮しながら治水上の目標を定め、高津川の計画的な治水対策を実施していくことが必要です。</p>

赤字：整備計画本文へ反映された箇所